

# 大阪大学におけるデジタル学生証・ 教職員証の導入について

大阪大学 情報推進本部 大平健司



# 大阪大学個人ID

- 従来の「学内情報システム利用のためのID」
  - ログイン認証、SSOのための認証連携、データ連携に使用
  - パスワードベースの認証
- 「大阪大学全学IT認証基盤システム」により発行管理
  - 部署ごとに独自のシステムが開発され、個々の要求に応じる形で、認証機構へのアクセスのためのインタフェースが都度開発ないし改修されてきた
  - 容易な連携が行えていない



# OUID (Osaka University IDentity)

- 阪大構成員としての個人を一意に特定できるデジタルID
  - 電子証明書をベースとしたフォーマットで構成
  - 学生から教職員、さらに学外の関係者に変更になった場合でも、永続的に利用できる固有のID
- クライアント証明書ベースの認証を行うOUIDシステム
  - 証明書を予め各自の所持するデバイスへインストール
  - 新サービス導入の際に認証機構を新たに作ることなくシームレスかつスピーディにセキュアな大学システムに統合することが可能



# OUIDサービス構想

- 統合されたIDを基に、阪大コミュニティの全ての人に対し、学内外で付加価値の高いサービスを提供

## OUID

(Osaka University IDentity)



高校生・受験生



大学生・大学院生



OB・OG



保護者



教員・職員  
医療従事者



地域コミュニティ

大阪大学コミュニティ全員に提供する一意の生涯IDと顔認証技術を活用した高付加価値サービスの提供(順次拡大予定)



デジタル学生証・教職員証  
(顔認証)



建物・会議室  
顔認証入館



出欠管理



遠隔授業・テスト



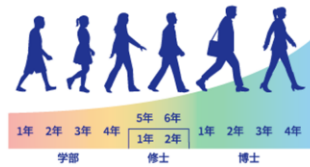
大学図書館  
自動貸出機



証明書  
コンビニ発行

## OU人財データプラットフォーム

大阪大学コミュニティ人財の知識・経験・役割・人脈(人的資本)を集約・共有・連携・共創するデータプラットフォーム



教育  
(学修環境の高度化・学生の人生に寄り添う)

- 入学前から卒業後に至るまでの一貫した学修データの蓄積・可視化・活用
- 学生のライフステージに合わせた教育・支援(入学前から卒業後まで終身サポート)



研究  
(研究活動の促進・支援・成果訴求)

- 共同研究・事業共創機会獲得(阪大OB・OGと連携)
- 研究データ集約・分析・公開し社会実装を促進



経営・業務  
(経営基盤強化・人的ネットワーク強化)

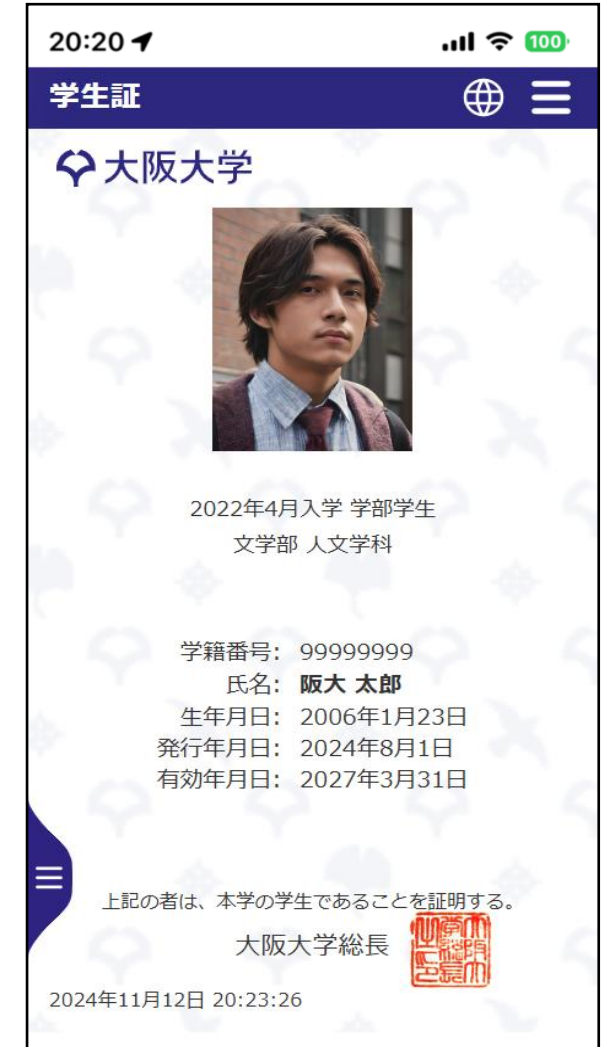
- 就職活動支援(OB・OG紹介)
- 校友会活動支援
- 特許・寄附収入強化
- 経営判断に資する自律的なデータ活用

教育・研究をはじめとする学内の全ての活動でリアルな大学とサイバー空間を高度に融合した「繋がる大学」へと転換することを目指す。さらに、在籍中の大阪大学の学生及び教職員約3万人に加え、入学前や卒業・退職後を含めた生涯的なID活用も想定。



# デジタル学生証・教職員証

- 2025年1月にサービス開始予定
- OUDX (大阪大学のDX) の一環として
- 「マイハンダイ」アプリへの機能追加
  - Android/iPhoneで利用可能
- 社会的認知が得られるまで、現行のプラスチックカード等の学生証・教職員証は並行使用

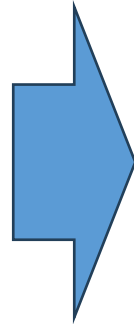




# 身分証デジタル化のメリット

## Before

- 学生証は年間  
1,000枚の紛失、  
4,000枚の磁気消失
- 職員証は部局毎に製作し  
異動に伴う再製作が必要
- 図書館利用には利用証の  
作成が別途必要



## After

- 紛失・再発行リスクや事務  
職員の対応労力を低減
- 部局毎の発行が不要  
(写真撮影やカード発行)
- 顔写真データを用い顔認証  
システムで入館管理(予定)



# デジタル学生証と学割

- 従来デジタル学生証は通学定期乗車券購入の際の証明書として使用できなかった
  - 東日本旅客鉄道株式会社 (JR東日本) の例 [1]
  - 他の私鉄等も上記に準拠しているものと思われる
- 西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本) は2024年10月に「通学定期乗車券の発売方法の見直し及び電子化された学生証等の取扱いについて」にて、2024年12月1日より電子学生証を有効とする旨の通知を発行
  - 電子学生証を有効とみなすための条件として、当該電子学生証に記載すべき項目も示されている

[1] <https://jreastfaq.jreast.co.jp/faq/show/3266>



# 証明者および職印印影

- 構成員の属性によって、証明権者が異なる
  - 正規学生の証明権者は総長（学部学則及び大学院学則に基く）
  - 非正規学生の証明権者は各部局長（各部局規程に基く）
- 構成員の属性によって、デジタル学生証表示画面内の証明権者文字列と職印印影を変更する必要がある
- 業務簡素化の観点からはDXの名の下に総長に統一したいが、入学許可権限を誰が持つかの議論となるため、多難か？
  - と思いきや、本学では過去(H18)に各種証明書の自動発行サービス開始に伴い、証明権者を全て総長とする取扱いがなされていた
  - 前例があったので、今回のデジタル学生証についても同様の取扱いとすることが承認された





# まとめ

- デジタル学生証に関する取り組み
  - 電子証明書ベースのOUID
  - マイハンダイアプリ上でのデジタル身分証
  - 学外で正規の身分証としての取扱いを求める活動
- デジタル学生証に関する展望
  - リアルな大学とサイバー空間を高度に融合した「繋がる大学」へ



# ディスカッション

- ユースケース
  - 入退館、出欠管理、試験、図書館、証明書発行、…
- 認証基盤・IdPとの関係
  - ?
- 今後の見通しとハードル
  - 誰が正当な身分証として認めて取扱いをしてくれるか次第